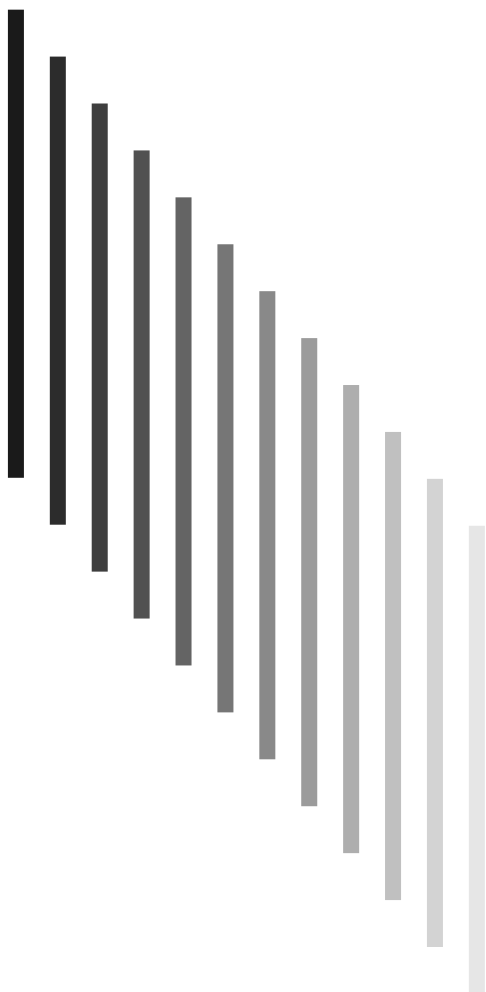
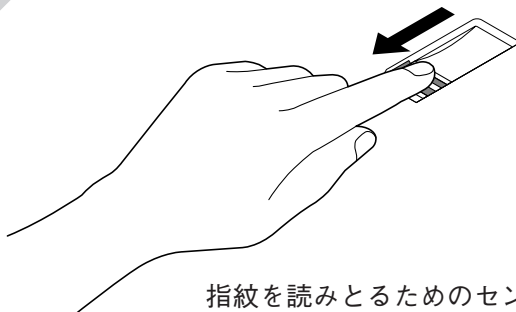
LaVie
VersaPro
Mate

NEC

内蔵指紋センサ（ライン型）ユーザーズガイド

内蔵指紋センサ（ライン型）について

内蔵指紋センサ（ライン型）ユニット

指紋を読みとるためのセンサです。上の図のようにセンサ上で指をすべらすように引くと指紋が読みとれます。

正しい指の動かし方について→PART2の「指紋の読みとり方」（p.13）

指紋認証マネージャ

見やすく、操作しやすい画面で、指紋認証に必要な設定や一括した指紋情報の管理がおこなえます。

指紋認証マネージャについて→「PART3　指紋認証基本ユーティリティの使い方」（p.27）

●内蔵指紋センサ（ライン型）をご利用になる際は、必ず、オンラインマニュアルに記載されている注意事項をお読みください。

オンラインマニュアルについて→PART3の「オンラインマニュアルを見る」（p.36）

内蔵指紋センサ（ライン型）で できること

セキュリティを強化する

内蔵指紋センサ（ライン型）は、指紋を利用した個人識別に優れた認証システムです。
パスワードを使った従来のセキュリティよりも、さらに強固なセキュリティ機能を実現し、パソコンの不正使用や情報の漏洩を防止します※。また、セキュリティレベルを保つために、特定の管理者を決めて指紋認証システムの運用をおこないます。

参照

管理者について→PART1の「「管理者」について」(p.6)

※指紋認証システムは、完全なセキュリティを保証するものではありません。

視覚的なインタフェースで指紋情報を管理する

「指紋認証基本ユーティリティ」に入っている「指紋認証マネージャ」を使って、見やすい操作画面で、指紋認証に必要な設定や指紋情報の管理をおこないます。
指紋情報は、ハードディスク上に最大1000指登録できます。
「指紋認証マネージャ」では次のことができます。

- 指紋情報の管理をする
- Windowsログオン/スクリーンセーバ機能を利用するための設定をする
- アプリケーションシステムやWebページへのパスワード代替機能を利用するための設定をする

参照

「指紋認証基本ユーティリティ」をインストールする→「PART2　指紋認証基本ユーティリティをセットアップする」(p.11)

853-810601-522-A
2006年1月　初版

指紋認証でWindowsへログオン / スクリーンセーバのロック解除をする

指紋センサで指紋を読みとるだけで、Windowsのログオンやスクリーンセーバのロック解除ができます。パスワードを入力するよりも、すばやい認証操作が可能です。

Windowsのユーザーアカウントやログオンパスワードについて→「PART3 指紋認証基本ユーティリティの使い方」(p.27)

指紋認証でアプリケーションのパスワードなどの代替をする

ダイヤルアップ接続やMicrosoft® Officeなどのさまざまなアプリケーションシステムのパスワード入力を指紋入力での認証に代替できます。また、パスワードだけでなくログオンIDやログオン先の入力、OKボタンの押下などの操作も、指紋入力操作に置き替えることができます。

アプリケーションのパスワードなどの代替ついて→PART3の「アプリケーションやWebのパスワードを代替する」(p.36)

指紋認証でWebページのパスワードなどの代替をする

Webページ内のログオンフォームへの入力や、Webページ内のさまざまな入力箇所への操作を指紋入力に代替して操作できます。

Webページのパスワードなどの代替ついて→PART3の「アプリケーションやWebのパスワードを代替する」(p.36)

オンラインマニュアルを使う

「指紋認証基本ユーティリティ」の詳しい説明を、お使いのパソコンの画面で閲覧することができます。

オンラインマニュアルについて→PART3の「オンラインマニュアルを見る」(p.36)

このマニュアルの表記について

記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

表記

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードやリモコンのボタンキーを指します。
「サポートナビゲーター」（LaVieのみ）	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」はデスクトップの（困ったときのサポートナビゲーター）をダブルクリックして起動します。

モデル

モデルの名称については、添付のマニュアル『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』（LaVieの場合）、『はじめにお読みください』（Mate、VersaProの場合）をご覧ください。

記載内容

・本文中では、CD-ROMドライブなどのCD-ROMを読み込むためのドライブを「DVD/CDドライブ」と記載しています。お使いのモデルに搭載されたドライブについては、添付のマニュアルをご覧ください。

・イラストや画面は、モデルによって異なることがあります。

・本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

ソフトウェアの正式名称

Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2
Outlook	Microsoft® Office Outlook® 2003
指紋認証基本ユーティリティ	SecureFinger 指紋認証基本ユーティリティ

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare℠ International Service］対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。

http://121ware.com/ultracare/jpn/

（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Professional、および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。

（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
SecureFingerは日本電気株式会社の商標です。

その他、このマニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■ 輸出に関する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致しております。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

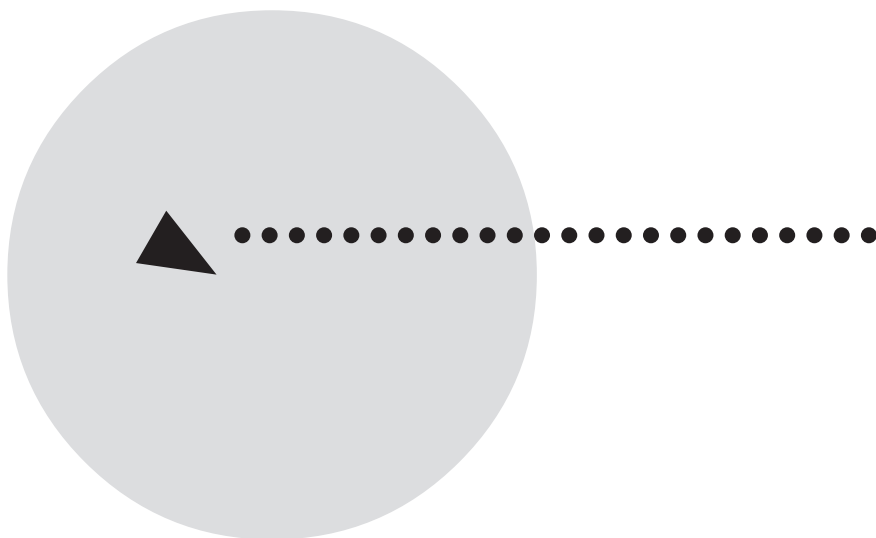
*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

目 次

PART

1

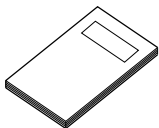
セットアップをする前に

このPARTでは、指紋認証ユニットを利用する前に
確認しておくことについて説明します。

添付品/設定を確認する

添付品を確認する

次の CD-ROM、マニュアルがそろっているか確認してください。

・内蔵指紋センサ（ライン型） セットアップ CD-ROM（1 枚）

・『内蔵指紋センサ（ライン型） ユーザーズガイド』（このマニュアル）

万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していた場合は、すぐに下記までお問い合わせください。

（LaVie の場合）NEC 121 コンタクトセンター
（Mate、VersaPro の場合）お買い上げの販売店、ご購入元

このほかの添付品については、マニュアル『LaVie G シリーズをご購入いただいたお客様へ』（LaVie の場合）、『はじめにお読みください』（Mate、VersaPro の場合）をご覧になり、確認してください。

パソコンの設定を確認する

「指紋認証基本ユーティリティ」のセットアップを始める前に、パソコンの設定などを確認してください。

ドメイン名 / コンピュータ名の文字について

「指紋認証基本ユーティリティ」はドメイン名、コンピュータ名に2バイト文字（全角の文字など）を使用したパソコンでは利用できません。2バイト文字を使用しているときは1バイト文字に変更してください。また、先頭の文字や末尾の文字に「 _ 」（アンダースコア）または「 - 」（ハイフン）が含まれる名前は利用できません。
コンピュータ名は次の手順で確認 / 変更できます。

- コンピュータ名の変更は、「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントでおこなう必要があります。
- 「指紋認証基本ユーティリティ」をセットアップ後に、コンピュータ名を変更することはできません。セットアップ後にコンピュータ名を変更する場合は、「指紋認証基本ユーティリティ」をアンインストールしてからコンピュータ名を変更し、「指紋認証基本ユーティリティ」のセットアップをやりなおしてください。
- ドメイン名については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

1 「スタート」-「コントロール パネル」をクリックします。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

3 「システム」をクリックします。

4 「コンピュータ名」タブをクリックします。

「フル コンピュータ名」として、コンピュータ名が表示されます。変更する場合は、「変更」をクリックして表示される画面で変更します。

BIOS の設定について

「指紋認証基本ユーティリティ」を使用するときは、BIOSの設定が次の内容になっていることを確認してください。

- （LaVie の場合）「詳細」-「USB 動作モード」-「2.0 モード」
- （VersaProの場合）「Advanced」-「USB Operation Mode」-「2.0 Mode」
- （Mateの場合）「Advanced」-「Advanced Chipset Setup」-「USB 2.0 Controller」-「Enabled」

参照

BIOSの確認方法について→（LaVieの場合）「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

（Mate、VersaProの場合）『活用ガイド　ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップユーティリティについて」

画面の DPI 設定について

「指紋認証基本ユーティリティ」を使用するときは、画面のDPI設定を通常のサイズ(96DPI)に設定してください。

上記以外の設定の場合、「指紋認証マネージャ」が起動できなくなったり、画面表示の崩れなどが発生することがあります。

アプリケーションのインストールについて

Windowsのセットアップの終了後、他のアプリケーションをインストールする前に「指紋認証基本ユーティリティ」をセットアップすることをおすすめします。

内蔵指紋センサ（ライン型）について

「管理者」について

ここでは、「指紋認証基本ユーティリティ」を使用したシステムの運用に必要な「管理者」と「一般利用者」、また、Windowsのユーザーアカウントとの関係について説明します。

「管理者」について

このパソコンの指紋認証システム全体を管理する人のことです。複数の「管理者」を作ることもできます。

「指紋認証基本ユーティリティ」のセットアップ時に、必ず一人の「管理者」を設定します。
「指紋認証マネージャ」で、新しい利用者の登録や設定の変更をするためには、「管理者」が立ち会って、「管理者」の指紋で「指紋認証マネージャ」を起動する必要があります。

指紋認証システムの「管理者」は、このパソコン自体を管理している人がなることをおすすめします。

「一般利用者」について

「管理者」以外の、指紋認証システムを利用する人のことです。「一般利用者」は、自分の指紋の設定だけを変えられます。

Windowsのユーザーアカウントについて

指紋認証システムの「管理者」と「一般利用者」は、Windowsのユーザーアカウント（「コンピュータの管理者」と「制限」）とは対応していません。
新しいユーザーアカウントの作成や、Windowsのログオンの設定、スクリーンセーバーの設定などをするには「コンピュータの管理者」である必要があります。

そのため、指紋認証システムの「管理者」は「コンピュータの管理者」にすることをおすすめします。
「一般利用者」については、ご使用の状況に合わせてユーザーアカウントを設定してください。

参照

指紋認証システムの詳しい運用について→「オンラインマニュアル」の「運用」

「制限」 のユーザーアカウントについて

「制限」のユーザーアカウントでログオンしている場合は、次の機能を使用できません。

- 「Power Users」 以上の権限が必要な機能
  - 「指紋認証マネージャ」 でのシステム設定の変更
- 「Administrators」 権限が必要な機能
  - 「指紋認証マネージャ」 での OS ログオン情報の設定

Windows のドメイン環境で利用する場合

Windowsのドメイン環境で利用する場合は、別売の「指紋認証ユーティリティ（サーバ版）」をご購入いただき、サーバマシン上で指紋データを一元管理することをおすすめします。「指紋認証ユーティリティ（サーバ版）」について詳しくは、「指紋認証ユーティリティ（サーバ版）」に添付のマニュアルをご覧ください。

複数のユーザーで使用する場合、管理者がパスワードを一括管理し、一般利用者は指紋のみでアクセスするようにすると、セキュリティが強化されます。

他のモデルとの違い

「指紋認証基本ユーティリティ」を利用するパソコンは、設定などが他のマニュアルに記載している内容や、一般的なWindows XPと異なる部分があります。ここでは、その違いについて説明します。

画面の違いについて

「指紋認証基本ユーティリティ」をセットアップすると、電源を切るときに表示される画面など、いくつかの画面が、他のマニュアルの表記や一般的なWindows XPと異なる表示になります。電源を切るときは、次の手順でおこなってください

1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックします。

2 「シャットダウン」を選んで、「OK」をクリックします。

これで電源が切れます。

利用できない機能について

以下の機能について、「指紋認証基本ユーティリティ」では対応していないため、機能に制限があります。

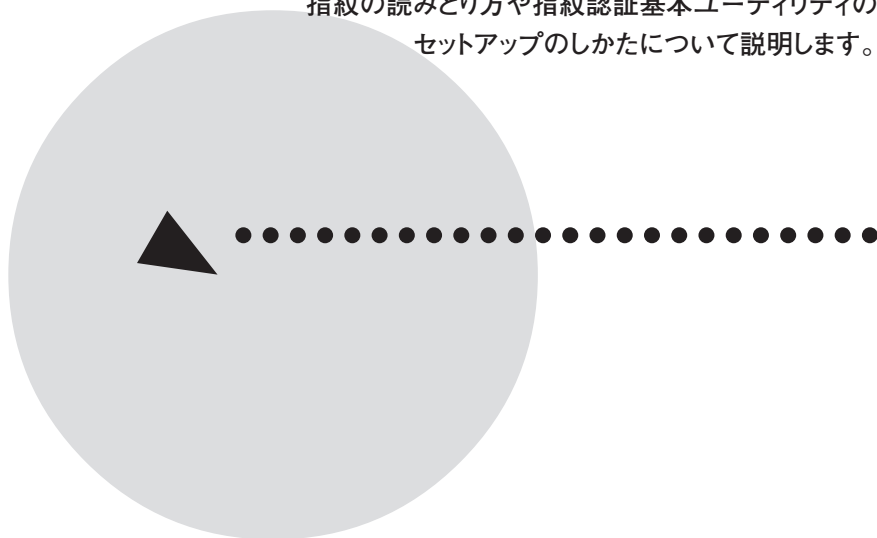
・「指紋認証基本ユーティリティ」で使用できるパスワードは、半角文字で14文字までです。それ以上のパスワードが使用できる機能、アプリケーションを使う場合も14文字以下に設定してください。

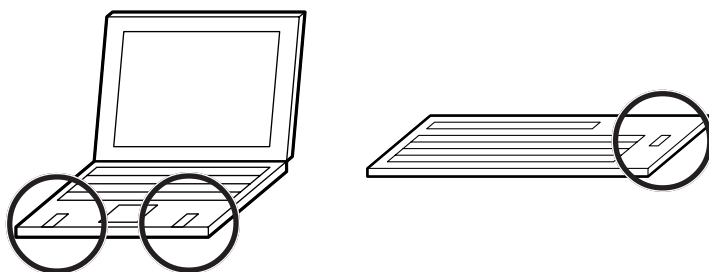
- 固定ユーザーのログオン（ユーザー名とパスワードを入力せずにログオンする機能）は使用できません。
- 「指紋認証基本ユーティリティ」とSmartCardを同時に利用することはできません。「指紋認証基本ユーティリティ」を利用する際は、SmartCard サービスを常時停止状態にしてください。
- ターミナルサービスで「指紋認証基本ユーティリティ」を利用することはできません。
- ログオン画面から直接ダイヤルアップログオンする機能は使用できません。
- ネイティブモードで稼動するActive Directoryのドメインコントローラにログオンすることはできません。
- 「指紋認証基本ユーティリティ」ではユーザー名にUPN（ユーザー プリンシパル名）を使用することはできません。
- 「ユーザーの簡易切り替え」機能は、指紋でログオンする設定になっている場合には利用できません。
- アプリケーションの「別のユーザとして実行」の機能には対応していません。
- リモートデスクトップは利用できません。
- 指紋によって Windows へログオンする機能を利用される場合、ユーザーのプロパティで設定するログオンスクリプト、ホームフォルダは使えません。ログオンスクリプトについては、「スタートアップ」か、Active Directoryのグループポリシーの「ユーザーの構成」-「Windowsの設定」-「スクリプト（ログオン / ログオフ）」で代用してください。
- 「指紋認証基本ユーティリティ」と同時に利用できない製品があります。指紋によって Windows へログオンする機能を利用される場合、他のOSログオンをおこなうための製品（IC カード、シングルサインオン等）と同時に利用できません。また、リモート操作ツールと相性が悪い場合があります。

PART

2

指紋認証基本ユーティリティをセットアップする

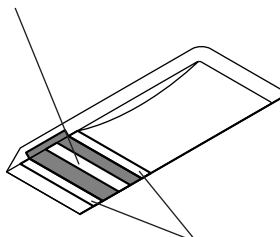
指紋の読みとり方や指紋認証基本ユーティリティの
セットアップのしかたについて説明します。

各部の名称と役割

内蔵指紋センサ各部の名称と役割について説明します。

内蔵指紋センサは、LaVie、VersaProの場合はキーボードの左下または右下、Mate の場合はキーボードの右側に取り付けられています。

参照

指紋センサの位置について→(LaVieの場合)『準備と設定』巻末の「各部の名称」
(VersaProの場合)『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「セキュリティ機能／マネジメント機能」
(Mateの場合)『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「キーボード」

各部の名称と役割

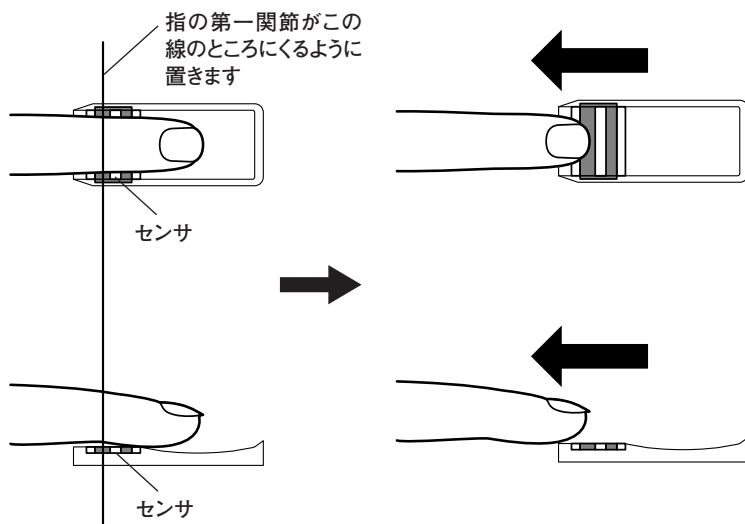
センサ
指紋を読みとるための専用センサです。

センサアース
センサのアースです。

指紋の読みとり方

正しい指の動かし方

内蔵指紋センサの高い照合精度を維持するために、「正しい指の動かし方」 でご使用ください。

■ 正しい指の動かし方の例

指紋は第一関節のあたりから指先まで読みとります。

(1) 登録する指の第一関節の少し上のあたりをセンサの上に置きます。少し時間をおいてから指を動かし始めてください。

(2) 指をセンサに触れさせながら、センサと平行に、ゆっくりまっすぐ引きます。 センサから指が浮かないように注意してください。

- LaVie、VersaProをお使いの場合、通知領域にが表示されているときに、をクリックして表示される「ハードウェアの安全な取り外し」画面で、「Fingerprint Identification Unit [BuiltInLS]」を停止すると、指紋認証による機能が使用できなくなります。この場合は、Windowsを再起動してください。
- Mateをお使いの場合、通知領域のをクリックして表示される「ハードウェアの安全な取り外し」画面で、「Fingerprint Identification Unit [BuiltInLS]」を停止すると、指紋認証による機能が使用できなくなります。この場合は、キーボードをパソコン本体からいったん抜き、再度差し込んでください。
- センサに指を置くときは、関節とそのすぐまわりの部分をさけて置いてください。指がセンサから浮いてしまって、指紋が読みとれない場合があります。
- 指の途中で、引くのをやめないでください。
- 指が乾燥しているかたや指紋の読みとりに慣れていないかたは、第一関節と第二関節の間をセンサの上に置いてから引くようにすると、読みとれる場合があります。
- 指が乾燥しているかたは、センサに指を少し強くあてながら引くと、読みとれる場合があります。
- 指が汚れたり、汗や脂などで濡れている場合は、ハンカチなどで指先を拭いてから指紋の読みとりをおこなってください。
- センサは直接指で触れるため、指の汚れが付着します。付録の「内蔵指紋センサ（ライン型）のお手入れ」（p.46）をご覧になり、常にセンサをきれいにしてください。

指紋入力要求中にやってはいけないこと

指紋入力要求中※は、次のことはしないでください。

- ログオフをする、ユーザーを切り替える
- スタンバイ状態（サスペンド）/休止状態（スリープ）にする
- 指紋認証システムのユーティリティを強制終了する
- デバイスを停止する

※: ログオン画面、スクリーンセーバのロック解除中、コンピュータロックの解除中、指紋認証マネージャ、パスワード代替システムの使用中を指します。

■ 指紋が読みとれないとき

間違った指紋の読みとり方

センサ上で次のような指の動かし方をすると指紋が読みとれない場合があります。

（1）センサに対して指を横に引く。

（2）指を前に押し出す。

（3）指をジグザグに動かす。

指紋の特性

指紋の登録は登録しやすい指を、複数本登録されることをおすすめします。

次のような場合は、指紋の登録が難しいことがあります。

・汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
・極端に乾いている
・指紋が小さすぎる
・指紋が大きすぎる
・指紋が渦を巻いていない
・手が荒れている
・摩耗により指紋が薄い

汗や脂が多い場合には指をよく拭き、手荒れや乾いている場合にはクリームなどを塗ることにより改善されます。

また、指先が小さい場合は、なるべく大きな親指などで登録してください。

また、次のような場合には、指紋の特徴が変化し、照合時に不一致が起きやすくなります。

・夏期など、汗や脂が多い場合
・冬期など、極端に乾いている場合
・手が荒れたり、けがをした場合
・急に太ったり、痩せたりした場合

登録が難しい場合は、照合時にも不一致がおきやすい傾向があります。

すべての指が登録しにくい場合には、同じ指を複数回登録することで、照合時の不一致がおきにくくなります。

セットアップをする

指紋認証基本ユーティリティをセットアップします。

ドメイン名またはコンピュータ名に2バイト文字を使用している環境でSecureFinger（指紋認証ユーティリティ）をご使用になることはできません。

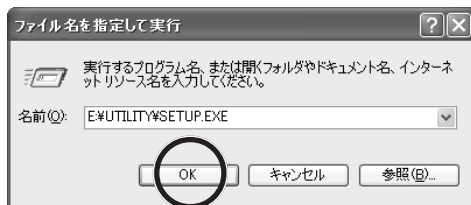
1 「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントで、Windowsにログオンします。

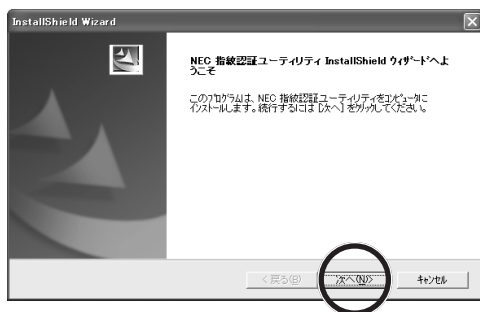
ドメインにログオンするユーザーアカウントに対して指紋認証機能を利用する場合は、「ドメインの管理者」のユーザーアカウントでドメインにログオンする必要があります。

2 「内蔵指紋センサ（ライン型）セットアップCD-ROM」をDVD/CDドライブにセットします。

3 「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

4 「名前」の欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。

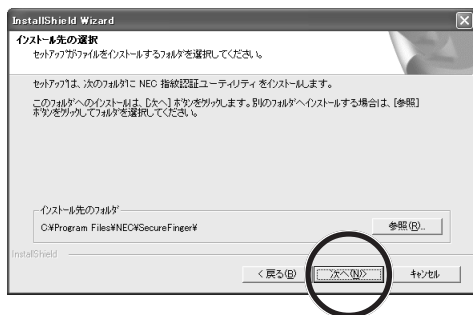
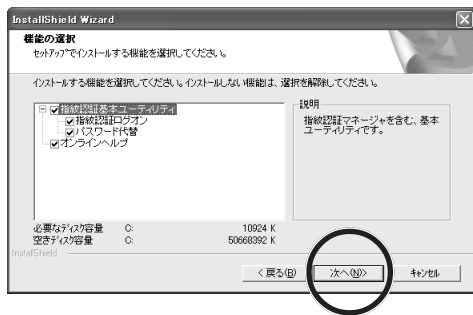
「E:¥UTILITY¥SETUP.EXE」と入力します。

このマニュアルでは、DVD/CDドライブが“E”ドライブの場合を例に説明しています。他のドライブが割り当てられている場合には読み替えてセットアップしてください。

5 次の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

6 次の画面が表示されたら、使用許諾契約の内容をよく読んでください。
同意される場合は、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選んで「次へ」をクリックするとセットアップが継続されます。同意されない場合は、「使用許諾契約の条項に同意しません。」を選んで「キャンセル」をクリックし、セットアップを中止してください。

7 **次の画面が表示されたら、ユーザ名を確認して、変更しない場合は「次へ」をクリックします。**

変更する場合は、ユーザ名を入力してください。

8 **次の画面が表示されたら、インストール先のフォルダを確認して、変更しない場合は「次へ」をクリックします。**

インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、フォルダを選んでください。

9 **次の画面が表示されたら、インストールするコンポーネントを選び、「次へ」をクリックします。**

最初は、すべての機能が選択されています。インストールしないコンポーネントがある場合は各コンポーネントの☑を☐にしてください。

コンポーネントは、「指紋認証ログオン」（Windows ログオン/スクリーンセーバ機能）、「パスワード代替」（アプリケーションシステムやWebページへのパスワード代替機能）、「オンラインヘルプ」（指紋認証基本ユーティリティの使用説明）の3つについて選択可能です。「指紋認証ログオン」や「パスワード代替」を選ぶと、「指紋認証基本ユーティリティ」は自動的に選択されます。

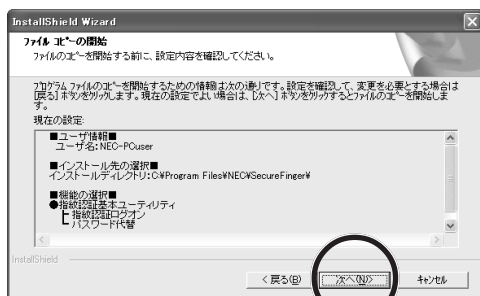
通常はすべてのコンポーネントをインストールすることをおすすめします。

1台のPCを複数人で共有し、共通のWindowsユーザーアカウントを使用する場合などは、パスワード代替と必要なコンポーネントのみインストールして使用することをおすすめします。詳しくはオンラインマニュアルの「運用」をご覧ください。

参照

オンラインマニュアルについて→PART3の「オンラインマニュアルを見る」（p.36）

10 次の画面が表示されたら、設定内容を確認して、変更しない場合は「次へ」をクリックします。

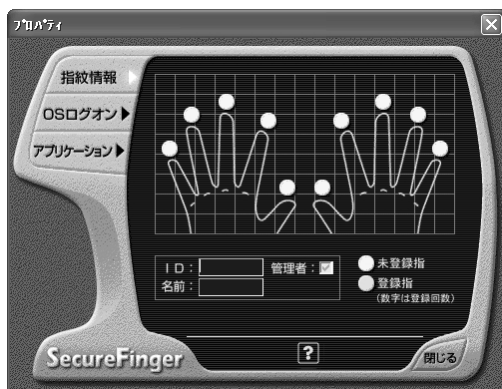
変更がある場合は、「戻る」をクリックして、必要な変更をおこなってください。

手順9で「オンラインヘルプ」のみを選択した場合は、手順21に進んでください。その他の場合は次の手順に進んでください。

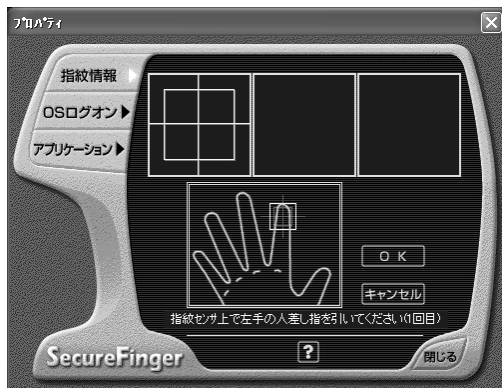
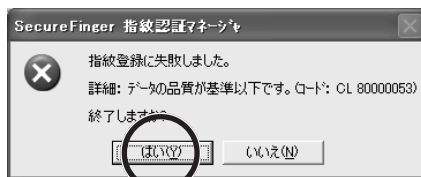
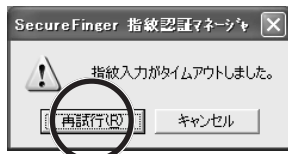
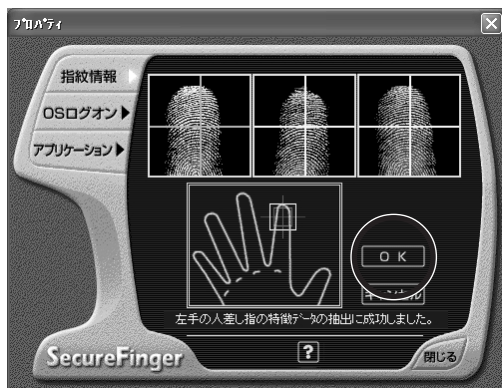
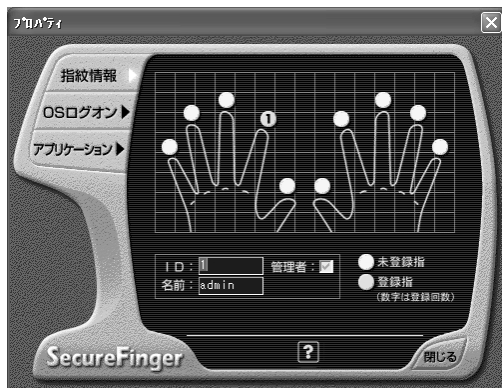
11 次の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

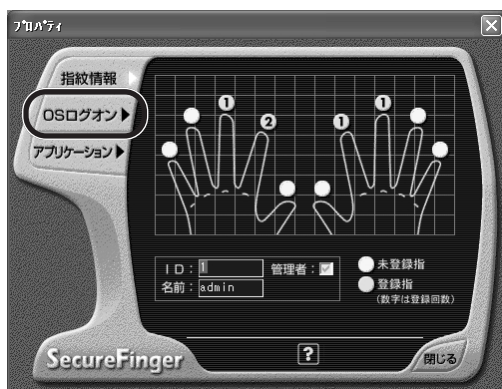
指紋認証マネージャが起動します。

12 次の画面が表示されたら、「ID」と「名前」の欄を入力して、画面上で登録したい指の先にある黄色の丸印をクリックします。ここで登録するユーザーは「管理者」になります。

・IDは1～999999までの半角数字、名前は半角文字で12文字まで入力できます。

・IDは指紋認証システムに指紋情報を登録する個人を識別する番号です。指紋情報を共有するシステム内ではIDは同じでなければなりません。

13 次の画面が表示されたら、画面の指示にしたがって登録する指を内蔵指紋センサで読みとります。

指紋の読みとりは3回おこないます。指紋を読みとるときは、必ず3回とも同じ指を使用してください。指紋の読みとりに失敗した場合は、「品質低下、xxx指をもう一度引いてください。」と表示されますので、もう一度、指紋を読みとってください。

・ 指紋登録に失敗した場合、次の画面が表示されます。この画面が表示されたら「はい」をクリックし、「指紋の特性」（p.15）を参考に登録しなおしてください。

・ 指紋を読みとらないまましばらくすると、次の画面が表示されます。この画面が表示されたら「再試行」をクリックして、指紋を読みとってください。

14 指紋の読みとりが3回成功すると、次の画面が表示されます。「OK」をクリックします。

15 指紋の登録に成功すると、次の画面が表示されます。 続けて2本目の指紋登録をおこなってください。 登録方法は1本目と同じです。

指のけがなどの原因で認証できなくなることを防止するために、2指目も登録することをおすすめします。後から改めて登録することもできます。1本の指につき3回まで追加登録できます。
手順9で「指紋認証ログオン」を選択しなかった場合は、「閉じる」をクリックして手順19に進んでください。

16 指紋登録が完了したら、「OS ログオン」 をクリックします。

17 「ユーザー名」、「フルネーム」、「説明」、「パスワード」、「パスワードの確認」を入力し、「ドメイン」、「グループ」を指定します。

ドメイン環境で使用中は、「ドメイン」、「グループ」を指定後、ドメインにログオンしたときのユーザーアカウント名、ユーザーアカウントパスワードなどを入力してください。
ドメイン環境で使用していない場合は、Windows にログオンしたときのユーザー名、パスワードを入力してください。
ユーザー名は 20 文字、パスワードは 14 文字まで入力できます。

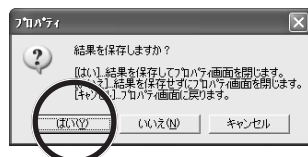
ここで入力するパスワードは、新規に設定されるパスワードです。

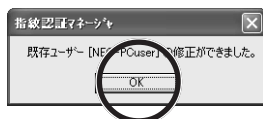
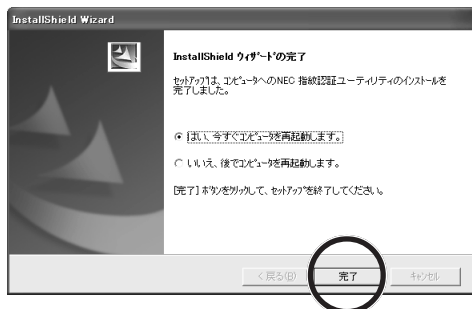
2
指紋認証基本ユーティリティをセットアップする

・「所属するグループ」で他のアカウント権限を選択することができます。この場合、「ドメイン」を指定してから、「所属するグループ」を指定してください。
・パスワードは必ず入力してください。

ドメインを変更した場合、「指定されたドメインの認証マシンを追加しますか?」と表示されるので、追加する場合は「はい」を選んでください。
次に、ドメイン名と認証マシン名が表示され、確認画面が表示されます。
確認後、「OK」をクリックします。これで認証マシンの設定が追加されます。
ここで登録したユーザーが「管理者」になります(グループはAdminstratorsにしてください)。
「管理者」のみ、ユーザーの追加、削除、変更などが可能ですので、管理者名、パスワードは大切に保管してください。

18 登録内容に誤りがないことを確認したら、「閉じる」をクリックします。

19 次の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

これでユーザーの登録は完了です。
手順9で「指紋認証ログオン」を選択しなかった場合は、手順21に進んでください。

20 次のような画面が表示されたら「OK」をクリックします。

21 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選んで、「完了」をクリックします。

コンポーネントの選択で「指紋認証ログオン」を選択した場合は、再起動後、キーボードの【Ctrl】+【Alt】+【Del】を1回押すと「指紋認証ログオン」画面が表示されますので、セットアップ時に登録した指紋を読みとってください。指紋照合に成功するとWindowsにログオンすることができます。
手順9で「オンラインヘルプ」のみを選択した場合は、インストールは完了です。

「指紋認証基本ユーティリティ」のセットアップ後に、さらにセットアップ(上書き)しないでください。再度セットアップする場合には、すでにセットアップされていないか必ず確認し、セットアップされている場合はアンインストールしてからおこなってください。

参照

アンインストールの方法→PART3の「「指紋認証基本ユーティリティ」をアンインストールする」(p.43)

2 指紋認証基本ユーティリティをセットアップする

PART

3

指紋認証基本ユーティリティの使い方

「指紋認証基本ユーティリティ」の基本的な使い方や、
指紋データの削除、アンインストールの方法を説明しています。

基本的な使い方

「指紋認証マネージャ」

「指紋認証マネージャ」を起動中は、席を外さないように注意してください。設定を他の人に変更される可能性があります。
スクリーンセーバロックも「指紋認証マネージャ」起動時には有効になりません。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SecureFinger」-「指紋認証マネージャ」をクリックします。

2 次の画面が表示されたら、登録されている指を読みとります。

- 画面には、登録した指に関係なく、人差し指のイラストが表示されます。読みとりは、登録してある指でおこなってください。
- 指紋を読みとらないまましばらくすると、「指紋入力がタイムアウトしました。」と表示され、指紋認証ができなくなります。その場合は、「再試行」をクリックして、指紋を読みとってください。

参照

指紋の読みとり方→PART2の「指紋の読みとり方」(p.13)

3 指紋認証されると、「指紋認証マネージャ」 が起動します。

新しい指紋を登録する

新しい指紋の登録方法を説明します。
指紋情報は、ハードディスク上に最大1000指登録できます。

- 指紋の登録には、「管理者」の指紋で「指紋認証マネージャ」を起動する必要があります。
- 指紋の登録には、「コンピュータの管理者」 のユーザーアカウントでWindowsにログオンしている必要があります。
- 指紋を登録する前に、「スタート」-「コントロールパネル」-「ユーザーアカウント」 から、指紋を登録するユーザーアカウントを作成しておくことをおすすめします。また、Windowsのユーザーアカウントは、「指紋認証マネージャ」 から新規に作成することもできます。

ユーザーアカウントの作成方法→(LaVieの場合)「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「複数の人で1台のパソコンを使う」-「複数の人でパソコンを使う(マルチユーザー機能)」
(Mate、VersaProの場合)Windowsの「ヘルプとサポートセンター」

1 「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントで、Windowsにログオンします。

ドメインにログオンするユーザーアカウントに対して指紋認証機能を利用する場合は、「ドメインの管理者」のユーザーアカウントでドメインにログオンする必要があります。

2 「管理者」の指紋で「指紋認証マネージャ」を起動します。

3 「新規」をクリックします。

ここから後の手順は、「セットアップをする」の手順12（p.20）～手順20（p.25）と同じです。ただし、「OSログオン」の設定は、指紋を登録するユーザーアカウントの設定にしてください。
手順12の画面で「管理者」をチェックすると、登録する指紋のユーザーを管理者に設定することができます。

パスワードを変更する

Windows のログオンパスワードの変更方法を説明します。

パスワードの変更は、必ずここで説明した方法でおこなってください。他の方法（「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」など）でパスワードを変更すると、指紋認証によるログオンができなくなります。
パスワードを変更して、指紋認証によるログオンができなくなったときは、パスワードで Windows にログオンし、次の「「指紋認証マネージャ」でパスワードを変更する」の手順でパスワードを設定しなおしてください。

参照

パスワードでWindowsにログオンする→付録の「困ったときの対処法」-「Windowsのログオンができない。スクリーンセーバのロック解除ができない。」（p.49）

「指紋認証マネージャ」でパスワードを変更する

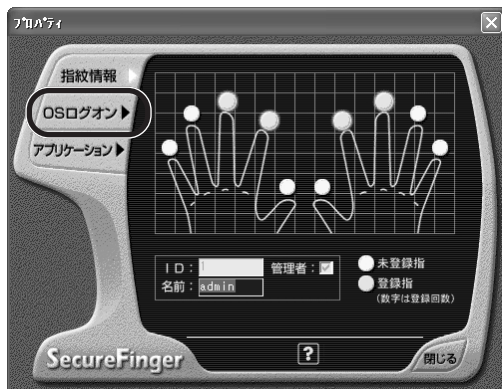
1 「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントで、Windowsにログオンします。

ドメインにログオンするユーザーアカウントに対して指紋認証機能を利用する場合は、「ドメインの管理者」のユーザーアカウントでドメインにログオンする必要があります。

2 「指紋認証マネージャ」を起動します。

3 パスワードを変更するユーザーを選び、「プロパティ」をクリックします。

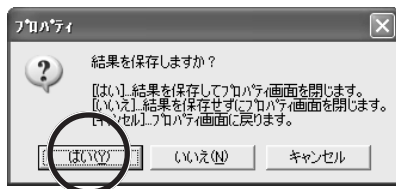
「管理者」は、すべてのユーザーのパスワードを変更できます。「一般利用者」は、自分のパスワードのみ変更できます。

4 「OS ログオン」をクリックします。

5 「パスワード」「パスワードの確認」欄に新しいパスワードを入力します。

パスワードは、半角文字で14文字以下にしてください。15文字以上にすると、指紋認証によるWindowsへのログオンができなくなります。

「パスワード」「パスワードの確認」欄は、文字数からパスワードを類推できないように、パスワードの文字数に関係なく14個の*が表示されています。

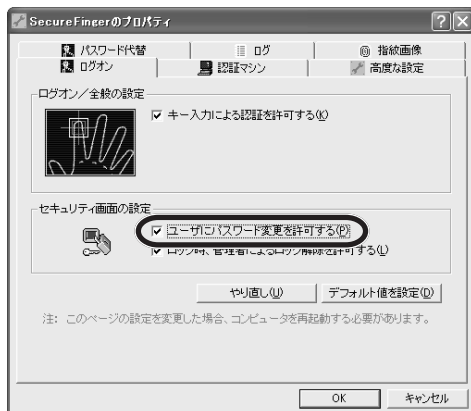
6 「閉じる」をクリックします。

「結果を保存しますか?」と表示されるので「はい」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

これでパスワードの変更ができました。

「指紋認証マネージャ」を起動せずにパスワードを変更する

・この方法でパスワードを変更できるのは、指紋認証でWindowsにログオンした場合のみです。パスワードを使ってWindowsにログオンしたときにこの方法でパスワードを変更すると、指紋認証によるログオンができなくなります。

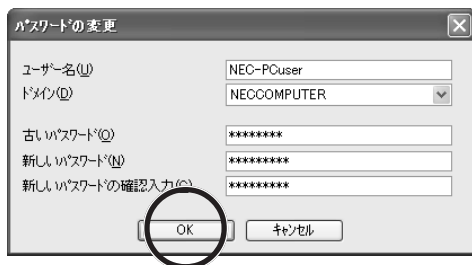
・この方法でパスワードを変更するには、あらかじめ「管理者」が「指紋認証マネージャ」の「システム設定」-「ログオン」の「セキュリティ画面の設定」で「ユーザにパスワード変更を許可する」をチェックしておく必要があります。ご購入時の設定では、この項目はチェックされていません。

1 指紋認証で、Windowsにログオンします。

2 キーボードの【Ctrl】+【Alt】+【Del】を同時に押します。

「Windows のセキュリティ」の画面が表示されます。

3 「パスワードの変更」をクリックします。

4 「古いパスワード」「新しいパスワード」「新しいパスワードの確認入力」欄にそれぞれパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「パスワードは変更されました。」と表示されたら「OK」をクリックします。

パスワードは、半角文字で14文字以下にしてください。15文字以上にすると、指紋認証によるWindowsへのログオンができなくなります。

5 「完了」をクリックします。

「Windowsのセキュリティ」画面に戻るので「キャンセル」をクリックします。

これでパスワードの変更ができました。

オンラインマニュアルを見る

「指紋認証基本ユーティリティ」の詳しい使い方や設定については、オンラインマニュアルに記載されています。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SecureFinger」-「指紋認証基本ユーティリティ オンラインマニュアル」をクリックします。

2 オンラインマニュアルが表示されます。

- 指紋認証マネージャの各画面で、[?]をクリックしても、オンラインマニュアルを表示できます。
- セットアップ時にコンポーネントの「オンラインヘルプ」を指定していない場合は、インストールされません。この場合、添付の「内蔵指紋センサ（ライン型） セットアップ」CD-ROMをパソコンにセットし、エクスプローラなどで「¥UTILITY¥HELP」フォルダ内の、「HELP_INDEX.html」をダブルクリックしてください。お使いのブラウザが起動し、オンラインマニュアルを表示できます。

アプリケーションやWebのパスワードを代替する

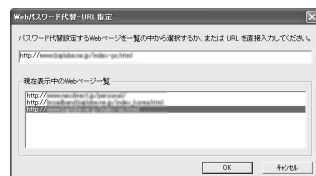
「指紋認証基本ユーティリティ」の「パスワード代替システム」では、Outlookやダイヤルアップ、Webサイトなどで必要なIDやパスワードの入力を指紋で代替できます。

※アプリケーションやWebページによっては、指紋認証によるパスワード代替に対応していない場合があります。詳しくは、オンラインマニュアルの「操作」-「パスワード代替システム」の「動作確認済アプリケーション」、「Webページ制限事項」をご覧ください。

アプリケーションのパスワード代替

webのパスワード代替

参照

「パスワード代替システム」について→「オンラインマニュアル」の「操作」-「パスワード代替システム」

利用する指紋認証サーバを設定する

「指紋認証ユーティリティ（サーバ版）」が動作している環境で、サーバ上で指紋認証を行うようにするには、クライアントマシンで次の設定を行う必要があります。

1 「管理者」の指紋で「指紋認証マネージャ」を起動します。

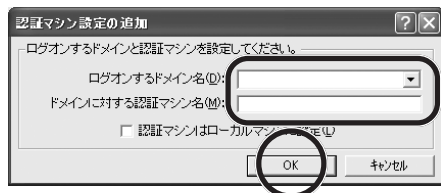
2 「システム設定」をクリックします。

「SecureFinger のプロパティ」の画面が表示されます。

3 「認証マシン」タブをクリックし、「追加」をクリックします。

「認証マシン設定の追加」の画面が表示されます。

4 ログオンするドメイン名とそれに対応した「指紋認証ユーティリティ（サーバ版）」がセットアップされているマシン名を入力し、「OK」をクリックします。

ドメイン名およびマシン名はNetBIOS名で入力してください。

5 「OK」をクリックします。

6 パソコンを再起動します。

再起動後、キーボードの【Ctrl】+【Alt】+【Del】を1回押すと「指紋認証ログオン」画面が表示されます。ドメイン欄にて設定したドメインを選択すると、サーバでの指紋認証が可能となります。

「指紋認証ユーティリティ（サーバ版）」について、詳しくは指紋認証システム SecureFinger のホームページ（http://www.sw.nec.co.jp/pid/）をご覧ください。

登録した指紋データを削除する

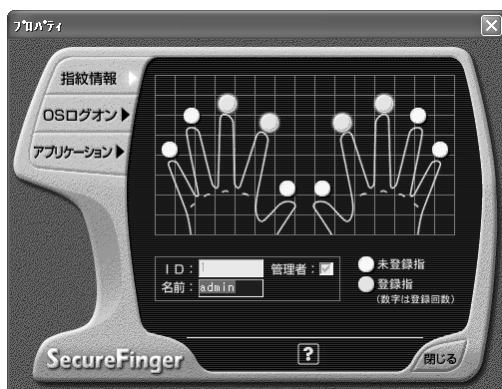
指紋データを削除する

登録した指紋データを個別に削除できます。

1 「指紋認証マネージャ」を起動します。

指紋データを削除できるのは、「管理者」か、指紋を登録した「一般利用者」本人のみです。どちらかのユーザーの指紋で「指紋認証マネージャ」を起動してください。

2 指紋データを削除したいユーザーを選んで「プロパティ」をクリックします。

3 指紋データを削除したい指の先にある青い丸印をクリックします。

4「削除」をクリックします。

5「閉じる」をクリックし、表示される画面で「はい」をクリックします。

・すべての指紋データを削除した場合は、ユーザーの削除をする画面が表示されます。必要に応じて、ユーザーの削除をおこなってください。
・「指紋認証マネージャ」を起動したユーザーを削除することはできません。

ユーザーを削除する

指紋認証が必要なくなったユーザーについて、登録したデータをすべて削除できます。

・この方法でユーザーを削除できるのは「管理者」だけです。
・「指紋認証マネージャ」でユーザーを削除しても、Windowsのユーザーアカウントは削除されません。ユーザーアカウントを削除するときは、後から削除してください。
・「指紋認証マネージャ」を起動したユーザーを削除することはできません。

参照

ユーザーアカウントの削除→Windowsの「ヘルプとサポートセンター」

1 「管理者」の指紋で「指紋認証マネージャ」を起動します。

2 削除するユーザーを選んで「削除」をクリックします。

3 「はい」をクリックします。

これでユーザーの削除ができました。

「指紋認証基本ユーティリティ」をアンインストールする

「指紋認証基本ユーティリティ」をパソコンからアンインストールする場合は、次の手順でおこないます。

「指紋認証基本ユーティリティ」をアンインストールするには、「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントでWindowsにログオンしている必要があります。

1 「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントで、Windowsにログオンします。

2 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。

3 「プログラムの追加と削除」をクリックします。

4 次の画面が表示されたら、「NEC 指紋認証ユーティリティ」をクリックします。

- アンインストール時にフォルダおよびプログラムフォルダが残る場合があります。 その場合には個別に削除してください。
- アンインストール中に「共有ファイルを削除しますか?」などの画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」などを選んでファイルを削除しないようにしてください。
- アンインストール中に「読み取り専用ファイルを検出」画面が表示された場合は、「はい」 をクリックしてください。

5 「変更と削除」 をクリックします。

削除画面が表示されます。
画面の指示にしたがって、アンインストールしてください。
アンインストール後、再起動のメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
Windows が起動し、パスワード入力によるログオンに戻ります。

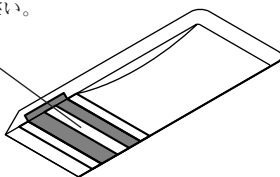
付　録

ここでは、お手入れのしかた、困ったときの対処法、
主な仕様について説明します。

内蔵指紋センサ（ライン型）のお手入れ

内蔵指紋センサのお手入れのしかたについて説明します。

センサは直接指で触れるため、指の汚れが付着します。常にセンサをきれいにして、ご使用ください。

1 センサをやわらかい素材の乾いたきれいな布で軽く汚れを拭きとってください。

- お手入れはシンナー、ベンジンなどの揮発性の有機溶剤や有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使用しないでください。
- ボールペンなど先の尖ったものを使用しないでください。

困ったときの対処法

本製品を使用してトラブルが発生したり、故障と思われる症状が起きたら、まず、ここを参考にチェックしてみてください。もし、この項目にないような症状が起こったり、記載されている対策をおこなっても改善されない場合は、NEC にご相談ください。

お問い合わせの際は、ご使用の機器名称、故障時の詳しい状況、現在の状況をお知らせください。

NEC のお問い合わせ先については、添付の『121ware ガイドブック』（LaVie の場合）、または『保証規定 & 修理に関するご案内』（Mate、VersaPro の場合）をご覧ください。

Q　指紋登録ができない。

A　次の原因が考えられます。原因別に適切な対処をおこなってください。

原因	対処法
指の動かし方が正しくない。	PART2の「正しい指の動かし方の例」（p.13）を参考に再度登録をおこなってください。
指紋の特徴が少ない。	異なる指に変更し、登録をおこなってください。

Q　パスワード代替で認証できない。

A　指紋入力を要求される画面で、「キャンセル」をクリックすると、パスワード入力で認証できます。ただし、指紋認証マネージャのシステム設定で、パスワード代替の「キャンセルボタンを使用しない」をチェックしている場合は、キャンセルできません。

A　アプリケーションやWebページによっては、指紋認証によるパスワード代替に対応していない場合があります。詳しくは、オンラインマニュアルの「操作」-「パスワード代替システム」の「動作確認済アプリケーション」、「Web ページ制限事項」をご覧ください。

Q　スクリーンセーバロックが正常に動作しない。

A　他のスクリーンセーバに変更してください。

付録

Q 照合でエラーとなる。

A 次の原因が考えられます。原因別に適切な対処をおこなってください。

原因	対処法
指紋センサに汗、汚れが付いている。	指紋センサを、付録の「内蔵指紋センサ（ライン型）のお手入れ」（p.46）を参考にきれいにしてください。
指の動かし方が正しくない。	PART2の「正しい指の動かし方の例」（p.13）を参考に正しく指を動かしてください。

Q 認証がスムーズにいかない。照合結果にムラがある。

A 温度や湿度、体調によって、指の皮膚の状態が微妙に変化してしまい、そのために照合がうまくいかない場合があります。
次のチェックを参考に、ご自分の指先の特徴や状態を確認し、適切な対処方法をお試しください。
指先の特徴、状態の違いなどによる照合時のムラが改善し、認証が失敗する、認証まで時間がかかるなどの問題が解決する場合があります。

I. 指先の状態による傾向と対処法のチェック

i. カサカサで乾燥気味の指先の場合
センサ面に指を強めに押しあててください。指に軽く息を吹きかけ適度な湿り気を与えることで効果がある場合があります。指先の角質化の防止にハンドクリームのご使用をおすすめします。

ii. 手や指先に汗をかいている、湿った指先の場合
指先の汗をハンカチなどで拭き取ってください。指をセンサ面にあてる際、少し軽めに指を乗せることによって改善される場合があります。

iii. 指先の皮膚が荒れている場合
他の指で再登録することをおすすめします。ハンドクリームなどのご使用をおすすめします。

iv. 皮膚炎にかかっている場合
他の炎症のない指で再登録するか、治癒するまでパスワードでのご利用をお考えください。

v. 指先に太いシワがある場合
指の中央部に太いシワがあると照合がうまくいかない場合があります。他の指で再登録することをおすすめします。

Ⅱ. 使用感からの照合の傾向と対処法のチェック

i. 午前中の照合で認証できない場合が多い
起きてまもなくは新陳代謝が低下している場合や、皮膚の脂が洗剤などで流されて乾燥状態になっている事があります。
指先に軽く息を吹きかけ適度な湿り気を与えることで、改善できる場合があります。
また、ハンドクリームなどのご使用をおすすめします。

ii. 一回で認証できるときと連続で認証できないときとムラがある
センサ面への指の動かし方を確認してください（p.13）。
指をセンサ面にあてる強さにムラがあるかもしれません。ご自分のベストな強さを見極める必要があります。

iii. 認証できない場合が多い
「I. 指先の状態による傾向と対処法のチェック」を参考に、再度、登録をやりなおして、改善するか試してください。

Q Windowsのログオンができない。スクリーンセーバのロック解除ができない。

A キーボードの【Ctrl】＋【Alt】＋【K】を同時に押すと、通常のパスワード入力でログオンできます。
この場合、指紋認証によるログオン画面がアクティブになっていることを確認してから、キーボード操作をおこなってください。
しかし、セキュリティレベルを上げるために、「指紋認証マネージャ」の「システム設定」で、キー入力による操作を無効に設定することをおすすめします。
Windowsのログオン時にキーボードの【Ctrl】＋【Alt】＋【K】によるパスワード入力でログオンすると、スクリーンセーバのロック解除も「パスワード入力」になります。

Q パスワード期限切れ前メッセージが表示された後、指紋認証によるWindowsのログオンができない。

A パスワード期限切れ前メッセージ（「ログオンメッセージ：ユーザのパスワードは、あとxx日で有効期限が切れます。パスワードを変更しますか？［はい］［いいえ］」）で、「はい」を選択してパスワードを変更した場合、次回から指紋認証でWindowsのログオンができなくなります。この場合、PART3の「「指紋認証マネージャ」でパスワードを変更する」（p.31）の手順でパスワードを変更しなおしてください。

Q 指紋認証マネージャのOSログオン画面で、グループが追加されない。

A グループ追加後にドメインを選択すると、グループがデフォルトに戻ります。ドメインの設定をおこなってから、グループの設定をおこなってください。

付録

主な仕様

■スキャナタイプ　光学式（指内散乱光直接読取方式）

■動作環境

OS　Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2